

令和元年度

市政モニターアンケート調査結果  
【 広報戦略について 】



長 崎 市  
広報戦略室

## 1. 調査の目的

市民との良好なコミュニケーションを形成し、市民と一緒にまちづくりを進めていくために広報の重要性が増していることから、広報戦略を策定し、戦略的・効果的な広報に取り組むこととしています。この調査結果を広報戦略策定に係る検討材料とし、今後の広報の成果検証に活かすために、調査を行いました。

## 2. 調査の概要

調査期間：令和元年 12 月 7 日 ～ 令和元年 12 月 23 日

送付数：227 人（郵送モニター 186 人 インターネットモニター 41 人）

回答率：67.0%（152 人）

（郵送モニター 138 人 インターネットモニター 14 人）

## 3. 調査結果

今回の調査結果から、「市民が求める情報」と「広報媒体の利用状況」、そして「長崎市へのイメージ」を確認することができました。

市民が求める情報については、市民生活に直接関係するものが大半を占めました。部署間で連携しながらニーズの把握や適切なタイミングでの情報発信を行うことで、市民の皆さまとの信頼関係の構築を目指していきます。

広報媒体の利用状況については、「広報ながさき」や「ホームページ」、「テレビ」「ラジオ」などさまざまな媒体から市役所の情報が発信されている中で、利用されている媒体と利用されていない媒体の差が明確になりました。

この結果を踏まえ、市役所が情報を発信する際の媒体の活用について見直しを行うとともに、発信力が高い「広報ながさき」や、情報の伝達速度が速い「ホームページ」「SNS」などの特性を生かしながら、効果的な情報の発信に努めていきます。

また、長崎市のイメージについては、「歴史・文化」や「観光」といったこれまでの長崎市のイメージに加え、長崎のまちが大きく変わろうとしている「変化」の部分を組み合わせるなど、長崎市の新たな魅力を発掘します。さらに市内外のかたへ発信することで、長崎市に興味を持っていただく人や可能性を感じてもらう人の増加や市民のシビックプライドの醸成につなげていきます。

## 4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点第 1 位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても 100 パーセントに合致しない場合があります。

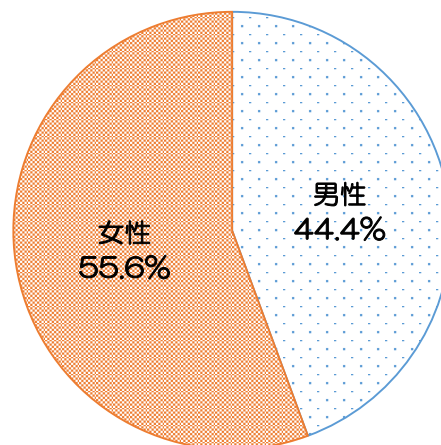
また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる間については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

問1 あなたの性別をお答えください。

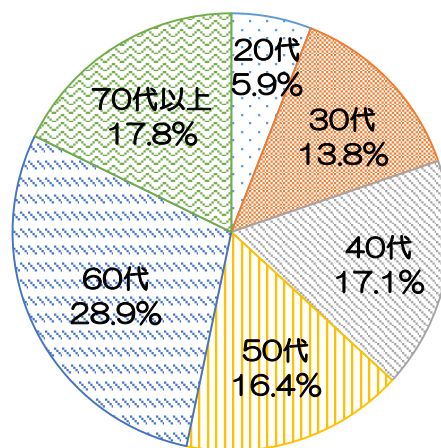
選択肢	回答者数	割合
男性	67人	44.4%
女性	84人	55.6%
合計	151人	100.0%

(無回答：1人)



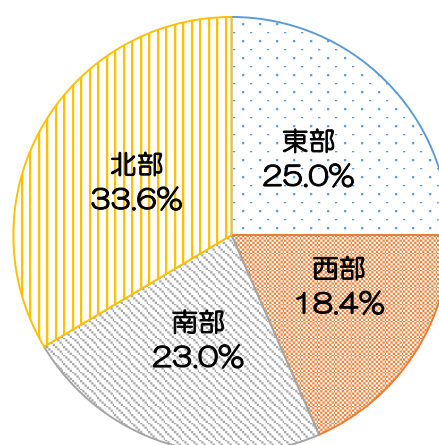
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	9人	5.9%
30代	21人	13.8%
40代	26人	17.1%
50代	25人	16.4%
60代	44人	28.9%
70代以上	27人	17.8%
合計	152人	100%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	38人	25.0%
西部	28人	18.4%
南部	35人	23.0%
北部	51人	33.6%
合計	152人	100%

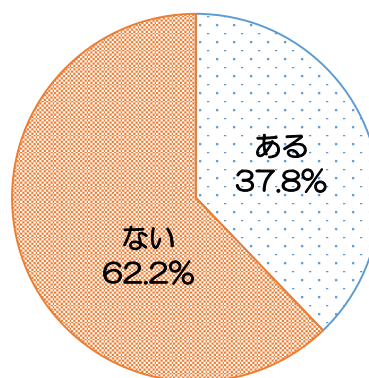


※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

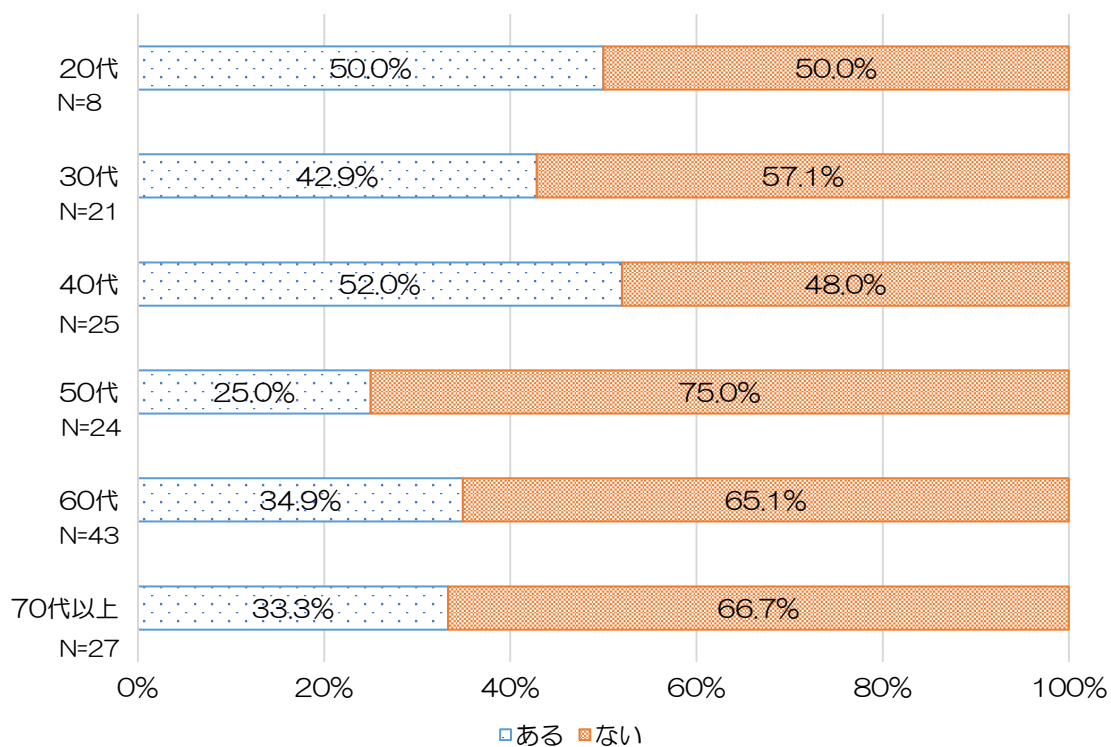
問 16 過去1年間に市役所からの情報を入手しようとしたことがありますか。

選択肢	回答者数	割合
ある	56人	37.8%
ない	92人	62.2%
合計	148人	100%

(無回答：4人)



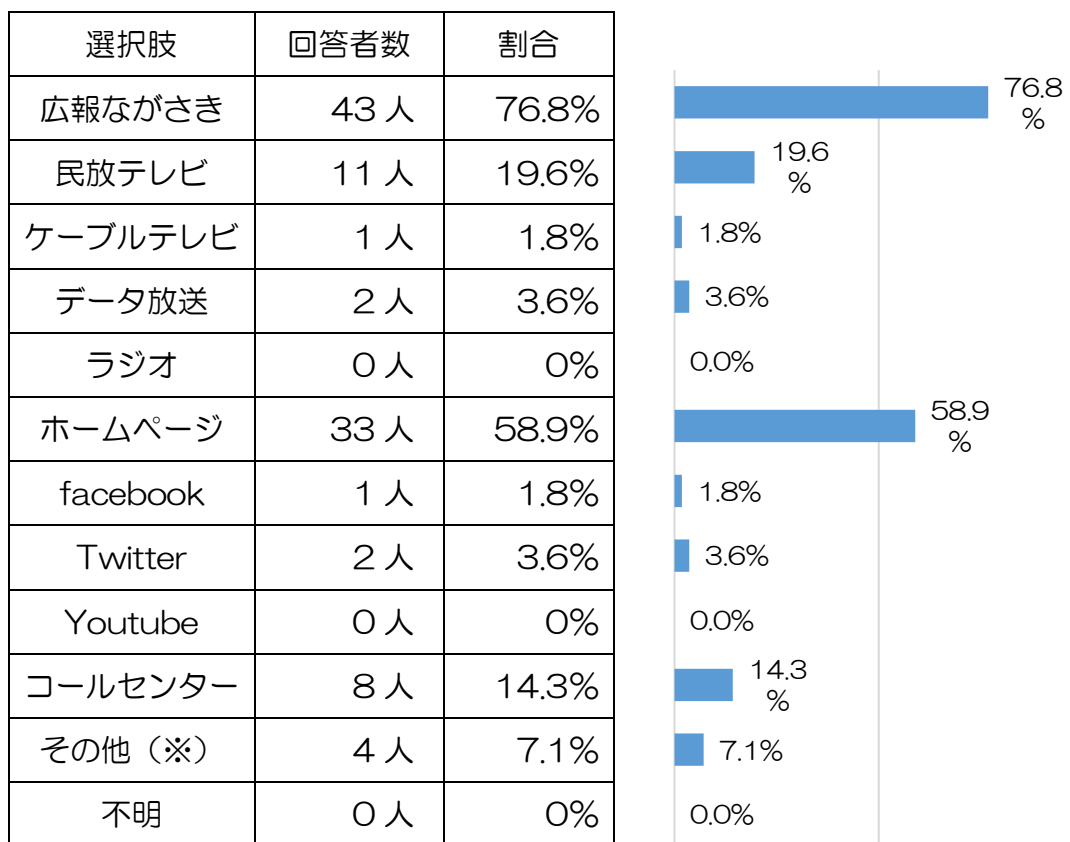
<年齢別割合>



過去1年間、市役所からの情報入手については「ない」と答えたかたの割合が6割を超えました。

年齢別で分析したところ、40代の割合が最も高くなる一方で、50代の割合が一番低い結果となりました。

問 17 「問 16」で「ある」と回答したかたに質問です。どこから情報入手しようとしたか（複数回答可）。



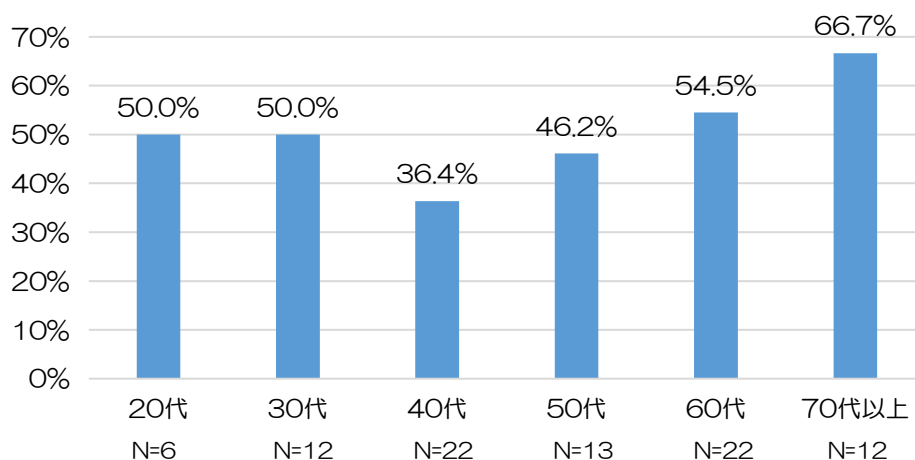
（回答者数=56 人 有効回答数=105）

※「その他」の意見

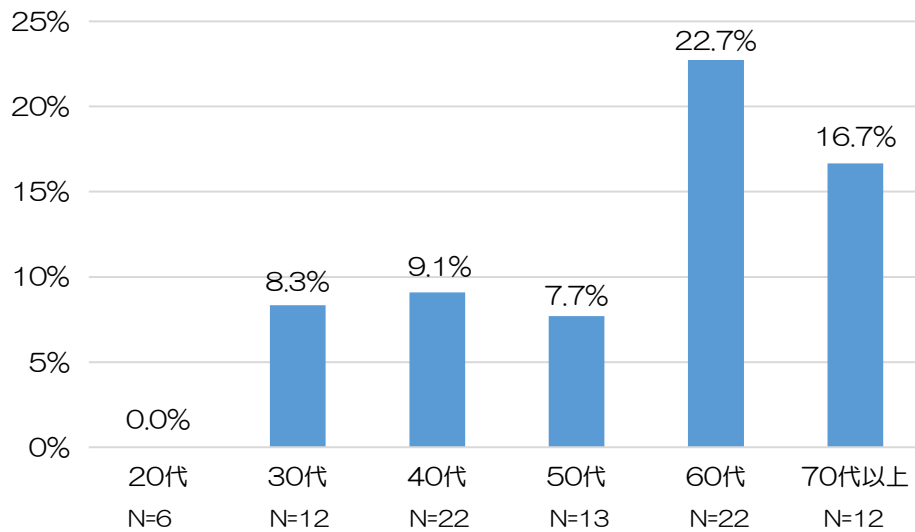
- ・新聞、市役所の窓口

<年齢別割合> ※割合が高かった3つの広報媒体を抜粋

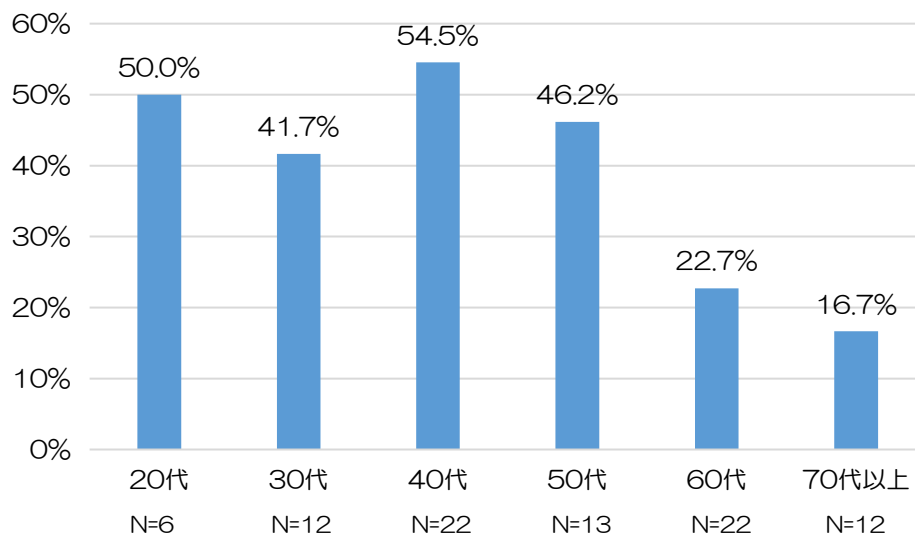
（広報ながさき）



(民放テレビ)



(ホームページ)

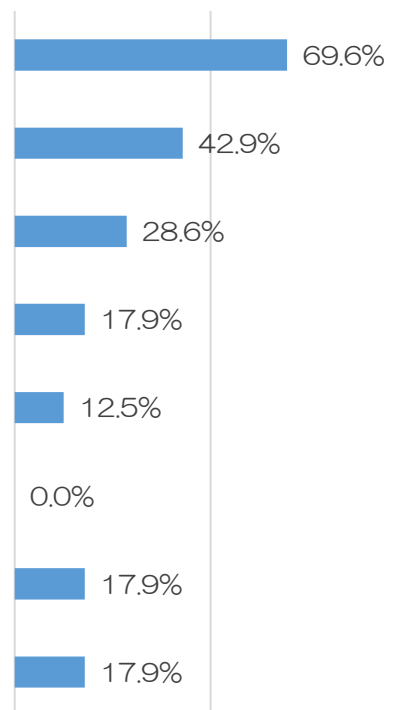


媒体別でみると、広報ながさき、ホームページ、テレビから情報を入手しようとした割合が高い結果となりました。他の媒体については、ラジオやYouTubeの利用がなく、利用されている媒体とされていない媒体の差が明確になっています。

割合が高い3つの媒体について年齢別でみると、広報ながさきはどの世代にもまんべんなく読まれています。民放テレビは20~40代の割合が低く、60・70代の割合が高くなっている一方で、ホームページは20~40代の割合が高く、60・70代の割合が低くなっています。

問 18 「問 16」で「ある」と回答したかたに質問です。入手しようとした情報は、どのような内容ですか（複数回答可）。

選択肢	回答者数	割合
生活に関すること	39 人	69.6%
福祉・健康に関すること	24 人	42.9%
子育て・学びに関すること	16 人	28.6%
住まいに関すること	10 人	17.9%
まちづくりに関すること	7 人	12.5%
産業に関すること	0 人	0%
防災・消防に関すること	10 人	17.9%
その他	10 人	17.9%



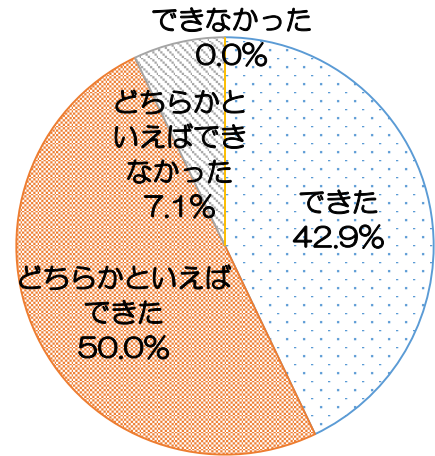
(回答者数=56 人 有効回答数=116)

市民の生活に一番関わりが深い、証明書の交付や税金、ごみの出し方などの「生活」に関する情報が 69.6%と最も割合が高く、「福祉・健康」「子育て・学び」が続きました。一方で、「産業」に関する情報については 0%となりました。

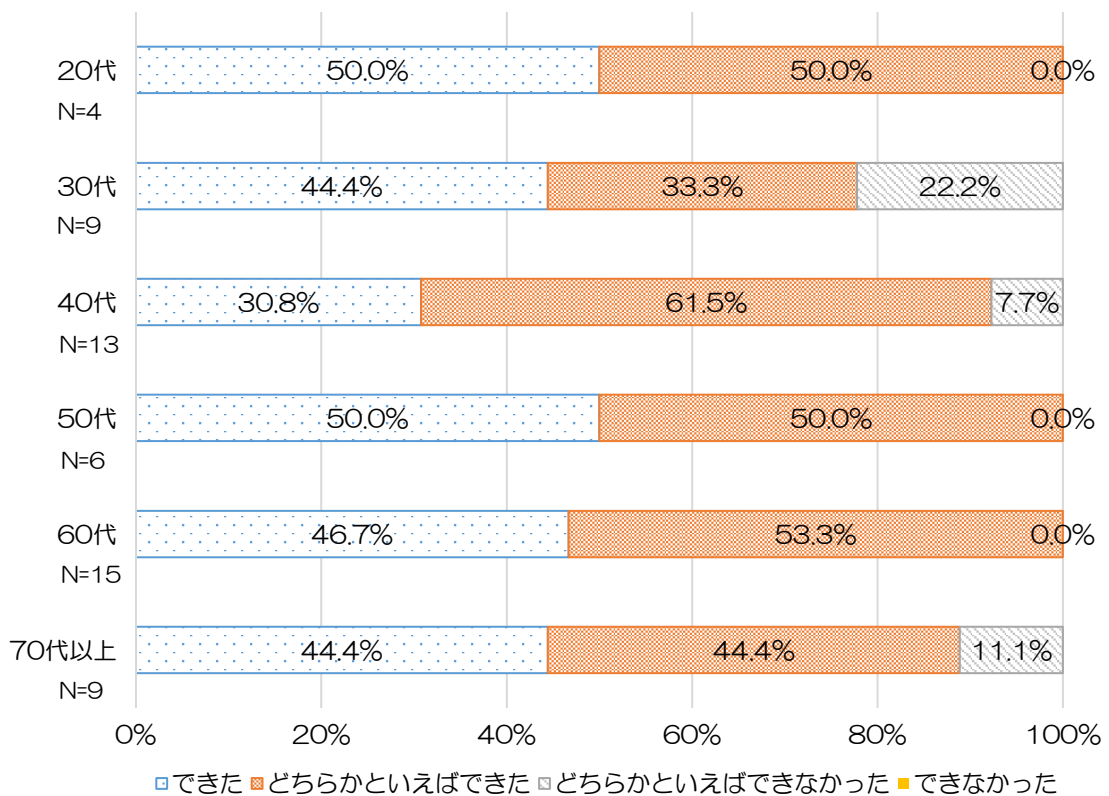


問 19 「問 16」で「ある」と回答したかたに質問です。必要な情報が入手できましたか。

選択肢	回答者数	割合
できた	24 人	42.9%
どちらかといえばできた	28 人	50.0%
どちらかといえばできなかった	4 人	7.1%
できなかった	0 人	0.0%
合計	56 人	100%



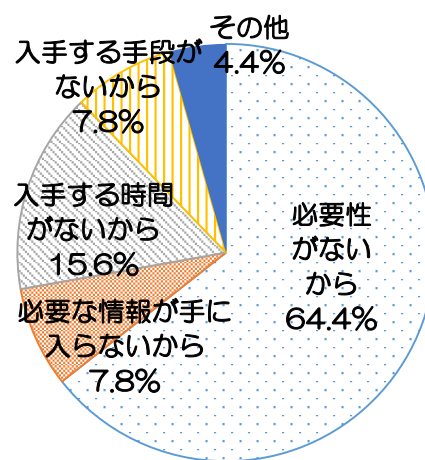
<年齢別割合>



92.9%のかたが「できた」「どちらかといえばできた」と答え、「できなかった」の回答はありませんでした。年齢別でみると、30代で「どちらかといえばできなかった」の割合が最も多くなっています。

問 20 「問 16」で「ない」と回答したかたに質問です。市役所からの情報を入手しようとしたことがない理由は何ですか。

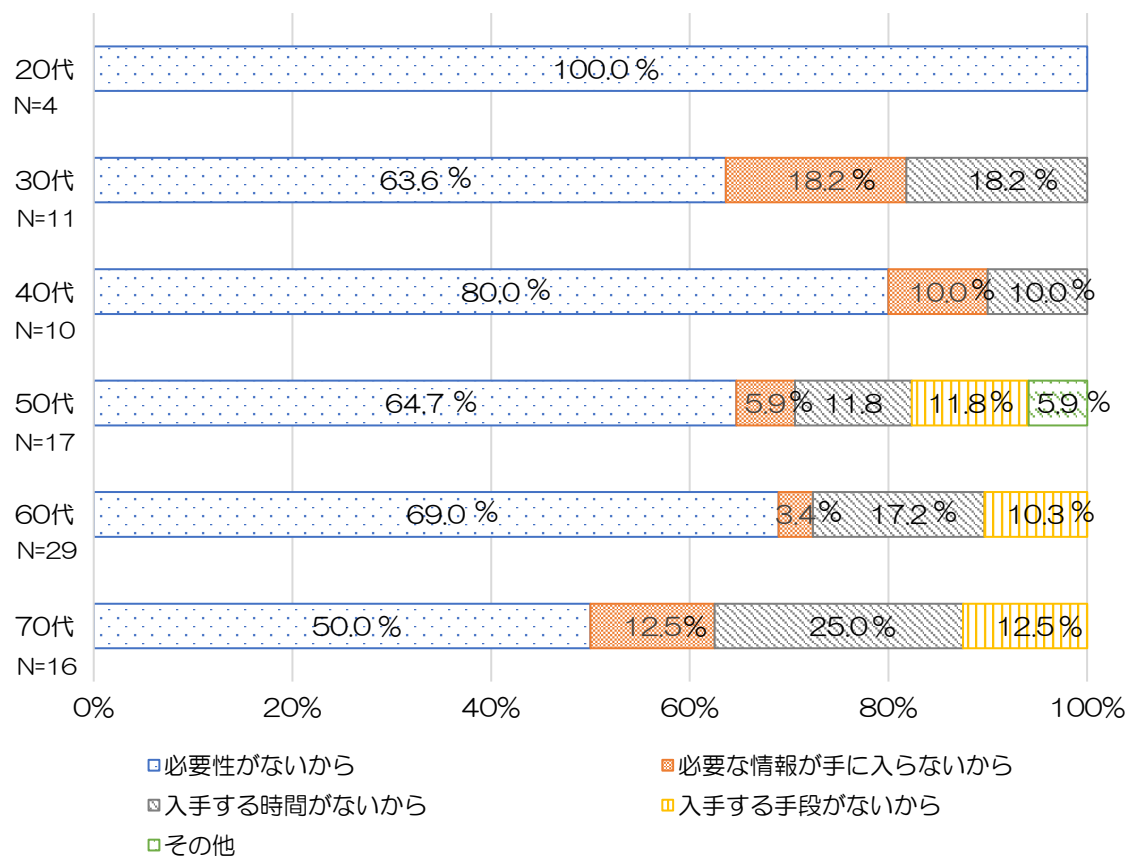
選択肢	回答者数	割合
必要性がないから	58人	64.4%
必要な情報が手に入らないから	7人	7.8%
入手する時間がないから	14人	15.6%
入手する手段がないから	7人	7.8%
その他	4人	4.4%
合計	90人	100%



※「その他」の意見

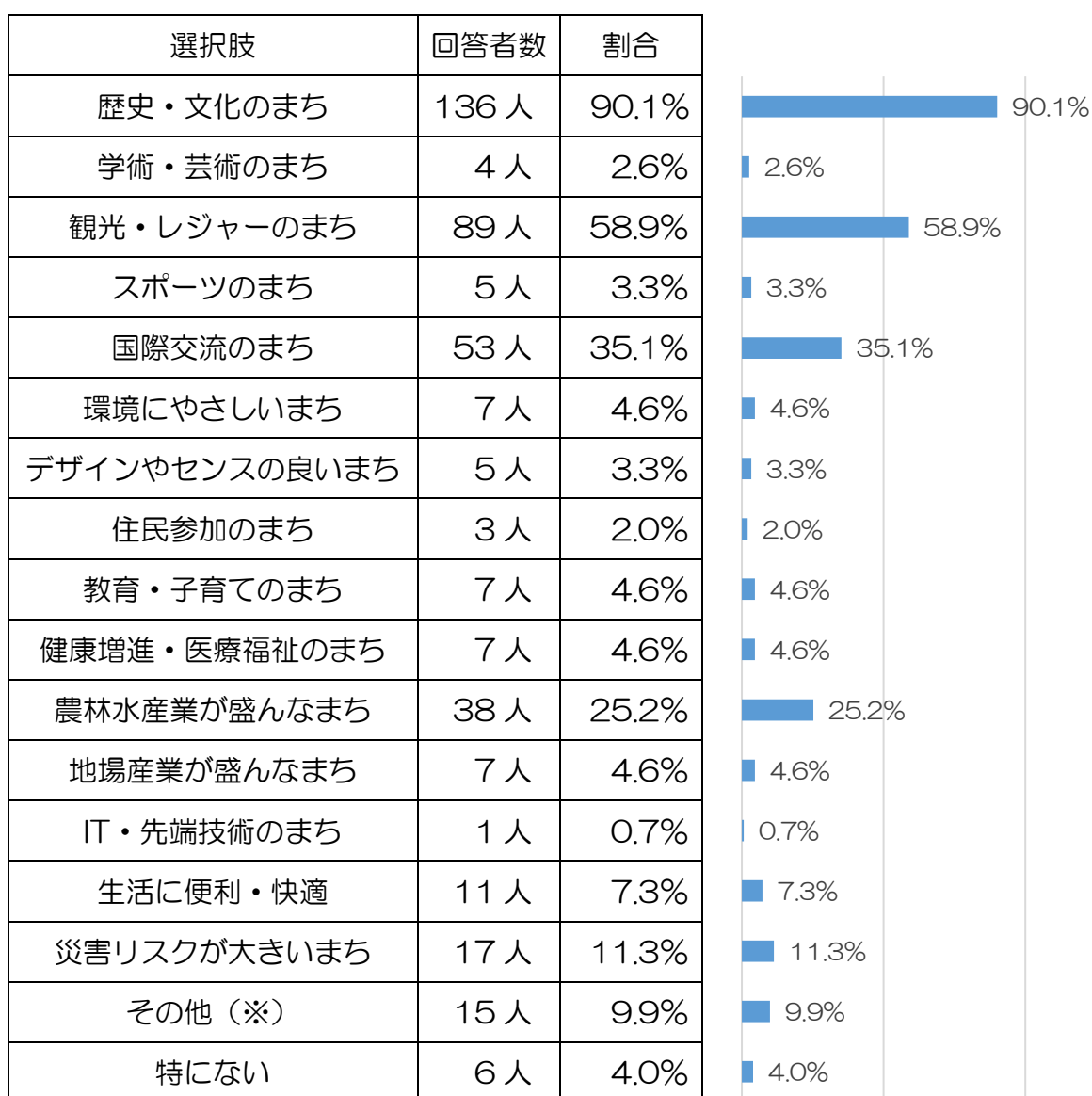
- ・どちらかと言えば受け身なので、自分から情報を入手しない
- ・回覧板で情報を入手できるから

#### <年齢別割合>



「必要性がないから」に次いで、「入手する時間がないから」といった回答が高い結果となりました。20代については、「必要性がないから」と回答したかたの割合が100%となりました。このことを踏まえ、市政に興味を持っていただくような情報発信の仕方を工夫することと、ホームページやSNSの発信力を高め、いつでも、どこにいても市政情報を入手できる環境づくりに取り組みます。

問21 あなたは、長崎市に対して、どのようなまちのイメージを持っていますか（複数回答可）。



（回答者数＝151人 有効回答数＝411）

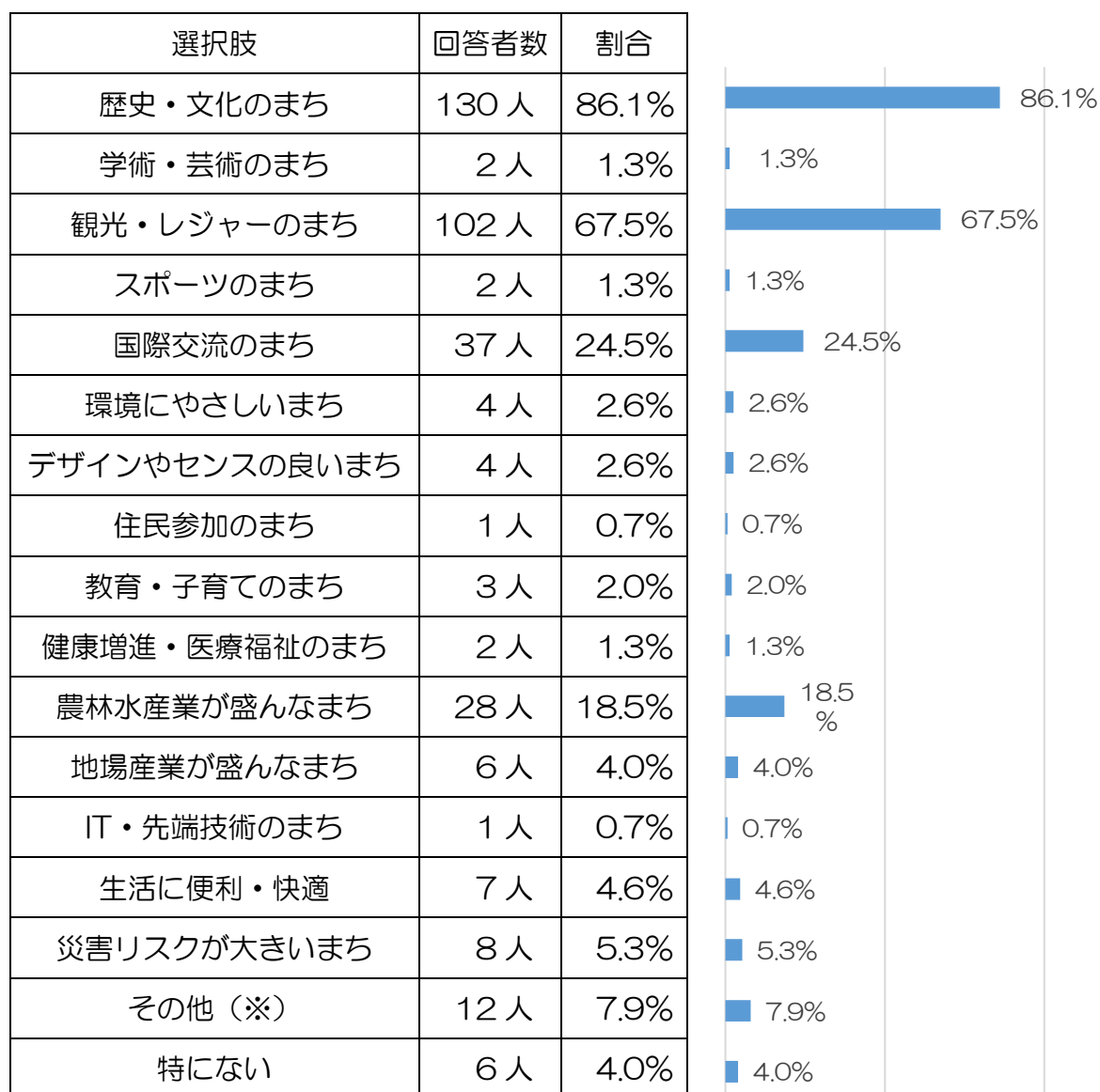
※「その他」の意見

- 人があたたかいまち
- 造船のまち
- 景観の良いまち
- 子育てがしにくいまち、歩きタバコが多いまち
- 若者が学ぶことや就学が難しいまち
- 賃金が安いまち
- 食べものがおいしいまち
- 教会群があるまち など

歴史・文化や観光・レジャー、国際交流、農林水産業のイメージがあると答え  
たかたの割合が高い結果となりました。

その他の回答としては、「人があたたかい」「食べ物がおいしい」「就職・就学が  
難しい」などの回答がありました。

問 22 市外の人から見て、長崎市は、どのようなイメージを持たれていると思いますか（複数回答可）。



（回答者数＝151 人 有効回答数＝355）

※「その他」の意見

- ・人があたたかいまち。
- ・原爆被災のまち
- ・食べ物がおいしいまち
- ・生活に不便なまち
- ・子育てがしにくい、家賃が高い、若者が少ないまち
- ・道路、公共の交通機関を利用しにくいまち など

問 20 と問 21 の結果と比べると、ほぼ同様の結果になりましたが、割合が高かった、「歴史・文化のまち」「観光・レジャーのまち」「国際交流のまち」「農林水産業が盛んなまち」のうち、「歴史・文化のまち」「国際交流のまち」「農林水産業が盛んなまち」のイメージは問 21 に比べて問 22 の割合の方が低くなっています。このことから市外のかたへ上記3つのイメージが伝わっていないと考えているかたがいることが分かりました。

割合が低い「住民参加」や「IT・先端技術」「学術・芸術」「教育・子育て」などについては、市の取組みや市民のかたの活動を積極的に発信していきます。



問 17 「問 16」で「ある」と回答したかたに質問です。どこから情報を入手しようとしたか。(複数回答可)

- 1 広報ながさき
- 2 民放テレビ
- 3 ケーブルテレビ
- 4 データ放送
- 5 ラジオ
- 6 ホームページ
- 7 facebook (フェイスブック)
- 8 Twitter (ツイッター)
- 9 Youtube (ユーチューブ)
- 10 コールセンター
- 11 その他 ( )
- 12 不明

問 18 「問 16」で「ある」と回答したかたに質問です。入手しようとした情報は、どのような内容ですか。(複数回答可)

- 1 生活に関すること(証明書の申請や税金、ごみの出し方など)
- 2 福祉・健康に関すること
- 3 子育て・学びに関すること
- 4 住まいに関すること(空き家や市営住宅、リフォーム補助の申請など)
- 5 まちづくりに関すること(都市計画や都市景観、まちなかの賑わいづくりなど)
- 6 産業に関すること
- 7 防災・消防に関すること
- 8 その他 ( )

問 19 「問 16」で「ある」と回答したかたに質問です。必要な情報が入手できましたか。

- 1 できた
- 2 どちらかといえばできた
- 3 どちらかといえばできなかった
- 4 できなかった



問 20 「問 16」で「ない」と回答したかたに質問です。市役所からの情報を入手しようとしたことがない理由は何ですか。

- 1 必要性がないから
- 2 必要な情報が手に入らないから
- 3 入手する時間がないから
- 4 入手する手段がないから
- 5 その他（ ）

問 21 あなたは、長崎市に対して、どのようなまちのイメージを持っていますか。（複数回答可）

- 1 歴史・文化のまち
- 2 学術・芸術のまち
- 3 観光・レジャーのまち
- 4 スポーツのまち
- 5 国際交流のまち
- 6 環境にやさしいまち
- 7 デザインやセンスの良いまち
- 8 住民参加のまち
- 9 教育・子育てのまち
- 10 健康増進・医療福祉のまち
- 11 農林水産業が盛んなまち
- 12 地場産業が盛んなまち
- 13 IT・先端技術のまち
- 14 生活に便利・快適なまち
- 15 災害リスクが大きいまち
- 16 その他（ ）
- 17 特にない

問22 市外の人から見て、長崎市は、どのようなまちのイメージを持たれていると思いますか。(複数回答可)

- 1 歴史・文化のまち
- 2 学術・芸術のまち
- 3 観光・レジャーのまち
- 4 スポーツのまち
- 5 国際交流のまち
- 6 環境にやさしいまち
- 7 デザインやセンスの良いまち
- 8 住民参加のまち
- 9 教育・子育てのまち
- 10 健康増進・医療福祉のまち
- 11 農林水産業が盛んなまち
- 12 地場産業が盛んなまち
- 13 IT・先端技術のまち
- 14 生活に便利・快適なまち
- 15 災害リスクが大きいまち
- 16 その他( )
- 17 特にない